



検査・処置・手術安全部会

2019 年度活動報告

2019 年度検討テーマ

会員病院のニーズや社会情勢などを踏まえ、毎年「検査」「処置」「手術」に関連したテーマを選び、有効な対策について検討している。2019 年度は画像診断レポートについて、医療者および患者双方のレポート管理への意識を高め、伝達のエラー予防に会員病院が取り組むための意識づけや取り組み方を広めた。

部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎=部会長、○=副部会長

五十嵐 裕章	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院
粕谷 敦	豊田地域医療センター
亀森 康子	自治医科大学附属 さいたま医療センター
萱島 道德	奈良県立医科大学附属 病院
菊地 龍明○	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
黒川 美知代	武蔵野赤十字病院
西條 文人	東北大学病院
佐々木 庸浩	医療法人社団愛友会 伊奈病院
長谷川 隆一◎	獨協医科大学埼玉医療 センター
安田 あゆ子	藤田医科大学病院

活動報告

セミナーの実施

- ・第1回セミナー
7月15日開催（シンポジウム形式、東京）
> [開催報告](#)
- ・鎮静ハンズオン（院内教育者担当対象）セミナー
8月10日開催（講義＋ハンズオン形式）
> [開催報告](#)

部会ワーキングの実施

- ・画像診断レポートの確実な伝達の取り組み文書のまとめ
10月25日開催

成果・発表内容等

- ・転倒・転落予防の標語の表彰と公開
> [2019 年度 転倒・転落予防の標語 受賞作品発表](#)
- ・画像診断レポートの確認 患者を守る5つの取り組みの公開
(調整中)

総括

部門の壁を超えることを主題に数年間活動してきましたが、2019 年度は放射線部門の「画像診断レポートの確実な伝達」について取り上げました。これに関するセミナーでは学会や職能団体の代表を招いて発表や議論を行い、現場に役立つ対策の素案を現在作成中です。加えて処置時の鎮静ハンズオンセミナーを開催し、こちらは会員病院で利用可能な教材とするべく冊子や講師による動画を作成する予定です。

残念ながら年末以後は COVID-19 の拡大により予定したセミナーや打ち合わせを行うことができず、対策や教材は完成まで至っておりませんが、唯一転倒・転落に関する標語は多くの施設から359 句もの応募を頂き、大いに盛り上がりました。これもひとえに会員病院の皆様のおかげであり、部会員を代表して心より感謝申し上げます。2020 年度も引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。
(部会長・長谷川 隆一)